

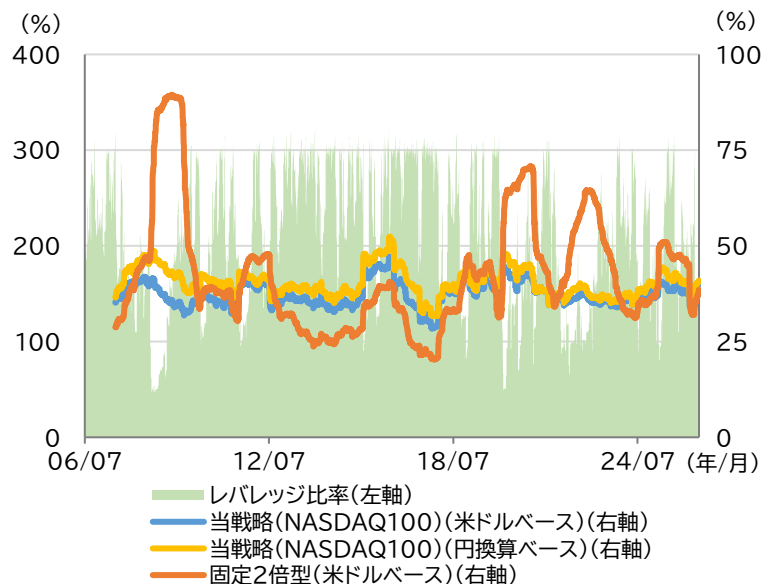
たわらノーロード
フォーカスアドバンスト・レバレッジX(NASDAQ100) 追加型投信/海外/株式
アドバンスト・レバレッジX(NASDAQ100 & ゴールド) 追加型投信/海外/資産複合愛称：
アドレバX (NASDAQ100)
アドレバX (NASDAQ100 & ゴールド)**アドレバ**
REPORT
Vol. 1
ADVANCED
LEVERAGE

一般的なレバレッジ型投信との違いは 「ターゲットボラティリティ」への着目

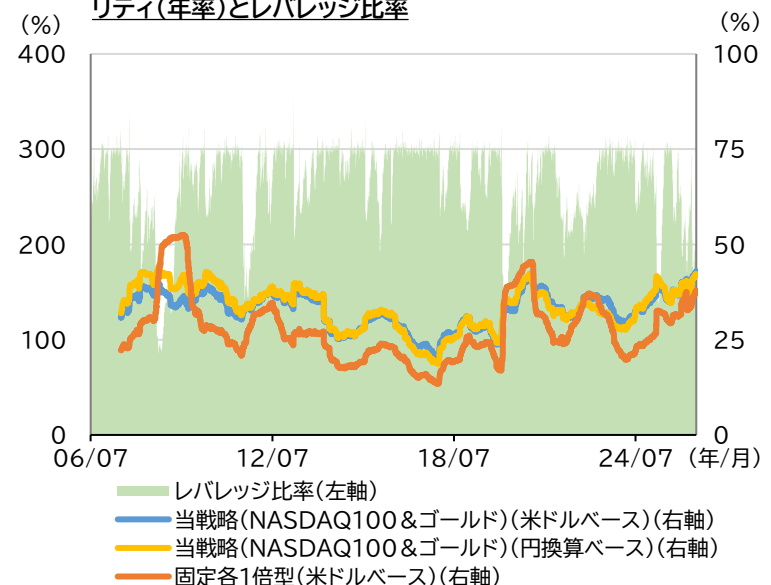
たわらノーロード フォーカス アドバンスト・レバレッジX(NASDAQ100)/たわらノーロード フォーカス アドバンスト・レバレッジX(NASDAQ100 & ゴールド) (以下、「各ファンド」という場合があります。)は、レバレッジとターゲットボラティリティ*1を活用することで、信託財産の成長を図ることをめざします。初回となる今回のレポートでは、課題のある一般的なレバレッジ型投信と各ファンドがどう違うのか、解説します。

【ご参考】シミュレーション

■当戦略(NASDAQ100)、固定2倍型のボラティリティ(年率)とレバレッジ比率



■当戦略(NASDAQ100 & ゴールド)、固定各1倍型のボラティリティ(年率)とレバレッジ比率



※期間: 2006年7月31日~2026年7月31日(日次)

出所: ブルームバーグ、LSEGのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

従来のレバレッジ型投信は、投資比率(レバレッジ比率)を一定の倍数に固定するため、相場急変時の大きな下落や、相場が上下に大きな変動を繰り返す場面で、資産が目減りしやすいといった課題があります。

各ファンドは、日々観測できる価格変動など過去のデータに基づき、価格変動リスク(ボラティリティ)が一定となるようレバレッジ比率を調整します。具体的には価格変動が大きい局面では投資量*2を抑え、小さい局面では投資量を増やします。アドレバX(NASDAQ100)の運用戦略(先物×ターゲットボラティリティ)では、ボラティリティ目標を年率35%程度(米ドル建て)、アドレバX(NASDAQ100 & ゴールド)ではNASDAQ100®先物および金先物をそれぞれ年率25%程度(米ドル建て)とするために、機動的にレバレッジ比率を調整します。この点が、レバレッジ比率を固定する従来のレバレッジ型投信との大きな違いです。

P2のグラフは、各戦略のドローダウンの推移を示したシミュレーションです。各資産の動向に応じて投資量を調整することで、リーマンショックのような価格変動が大きい局面で、パフォーマンスの下落抑制が図られていることがわかります。

このように、各ファンドは機動的にレバレッジ比率を調整することで、相場下落への耐性を保ちつつ、中長期的なリターンの向上をめざしています。

*1 ターゲットボラティリティとはボラティリティを一定に保つよう資産配分比率を変更する手法をいいます。

*2 投資量とは先物の買建額のことをいいます。

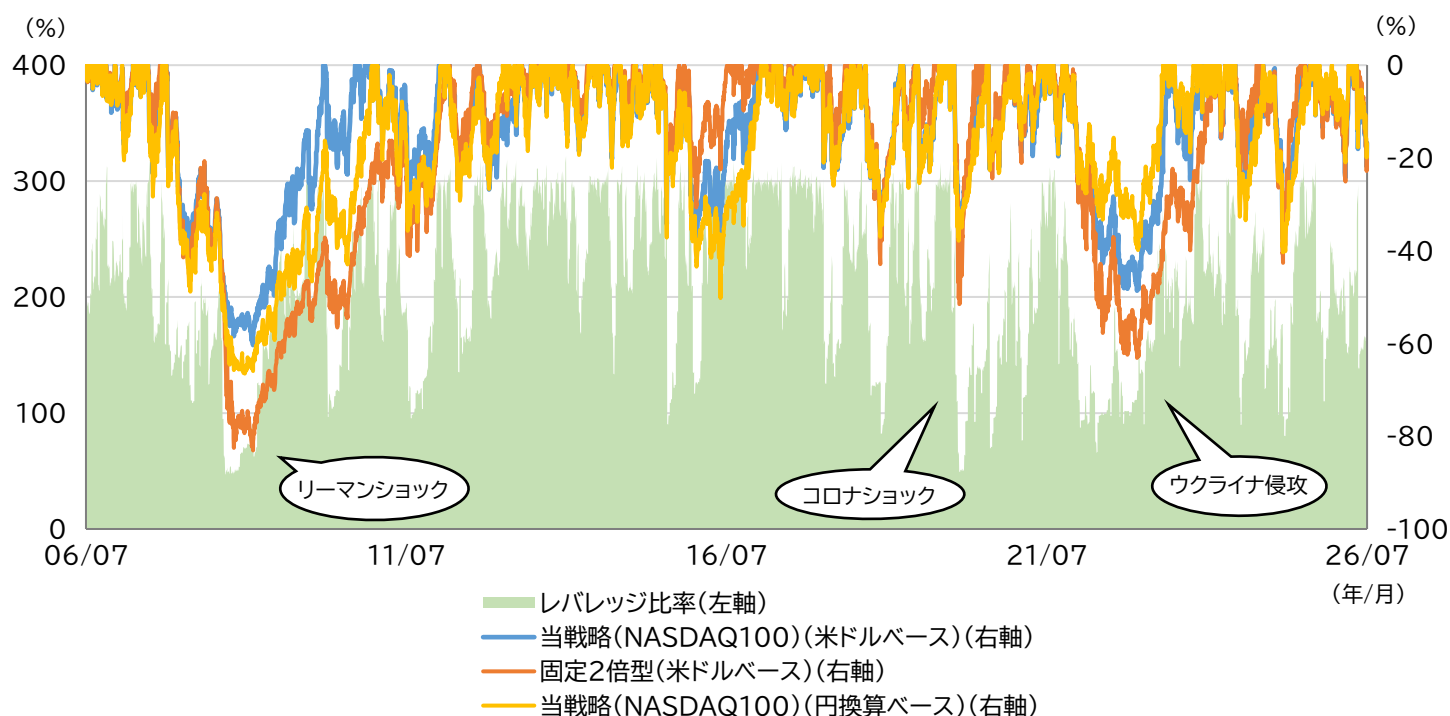
上記は、各ファンドのイメージをつかんでいただくためのものです。上記は各戦略に基づいて2026年7月末時点で作成したシミュレーションです。実際の運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。NASDAQ100 E-ミニ先物、COMEX金先物を使用。信託報酬控除前、その他費用、税金等は考慮していません。また将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の情報に基づく試算または作成時点の見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

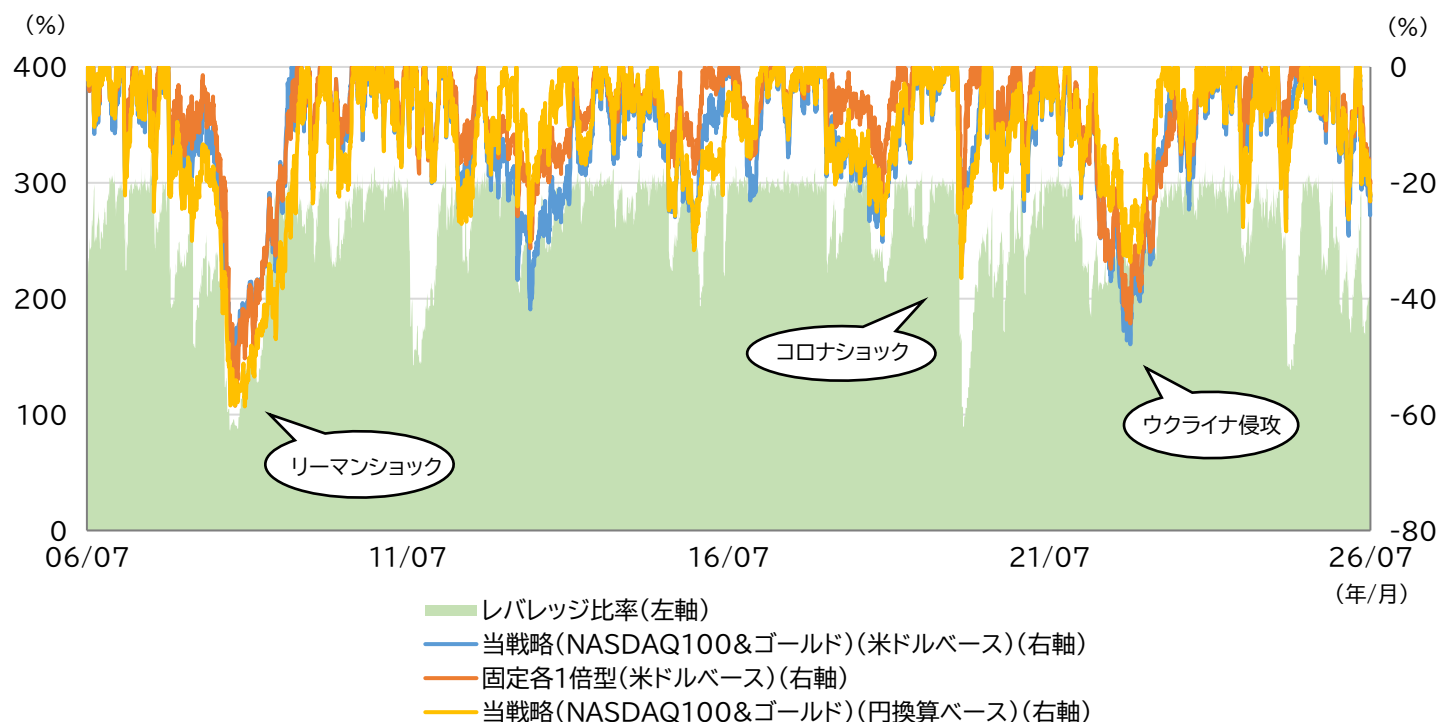
当資料のお取り扱いについての注意等は、最終ページをご確認ください。

【ご参考】シミュレーション

■当戦略(NASDAQ100)、固定2倍型のドロウダウンの推移



■当戦略(NASDAQ100&ゴールド)、固定各1倍型のドロウダウンの推移



※期間:2006年7月31日~2026年7月31日(日次)

出所:ブルームバーグ、LSEGのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

上記は、各ファンドのイメージをつかんでいただくためのものです。上記は各戦略に基づいて2026年7月末時点で作成したシミュレーションです。実際の運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。NASDAQ100 E-ミニ先物、COMEX金先物を使用。信託報酬控除前、その他費用、税金等は考慮していません。また将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※上記は過去の情報に基づく試算であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いについての注意等は、最終ページをご確認ください。

お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お客さまにご負担いただく手数料等について

【ご購入時】購入時手数料：**ありません**。【ご換金時】換金時手数料：**ありません**。信託財産留保額：**ありません**。【保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)]運用管理費用(信託報酬)：ファンドの日々の純資産総額に対して、**年率1.32%(税抜1.2%)**。※有価証券の貸付の指図を行った場合は、その品貸料に55%(税抜50%)未満の率*を乗じて得た額を追加でご負担いただきます。*2026年8月7日現在は、**品貸料の49.5%(税抜45%)以内**になります。その他の費用・手数料：組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査費用等が信託財産から支払われます。その他の費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率、上限額等を表示することができません。※上記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。※収益分配金に関しては投資信託説明書(交付目論見書)の収益分配金に関する留意点をご覧ください。※各ファンドには、大口の換金請求に関する制限、購入・換金申込不可日等、購入又は換金に係る制限やお客さまの不利となる事項があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の該当箇所をご覧ください。

ファンドの投資リスク

リスクの詳細については投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。「価格変動リスク」、「レバレッジリスク」、「デリバティブ取引等に関するリスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「金利変動リスク」、「流動性リスク」各ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、株価指数先物価格および金先物価格の変動の影響を大きく受ける場合があること、デリバティブ取引の活用により価格変動の基礎となる資産(原資産)以上の値動きをすること、為替相場の変動、投資する有価証券の発行者にかかる信用状況の変化、金利の変動、組入有価証券の市場に十分な需要や供給がないため取引を行えなくなる等により、組み入れた有価証券等の価格が下落し、基準価額が下落する要因となります。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当資料のお取扱いについての注意

当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資信託は、1.預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。2.購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。3.投資した資産の価値が減少して購入金額を下回ることがありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

照会先

アセットマネジメントOne株式会社



コールセンター **0120-104-694**
受付時間：営業日の午前9時～午後5時



ホームページアドレス
https://www.am-one.co.jp/

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2026年9月18日時点

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人日本STO協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○		

以下は取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

○印は協会への加入を意味します。

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人日本STO協会
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○		
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○				
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○		

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

(原則、金融機関コード順)



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会